

第2学年 修学旅行に行ってきました 2010年12月5日(日)～12月8日(水)

行程の概要

12月5日(日) ANA125便 1・2・3組
 学校＝羽田空港――那覇空港＝糸数壕＝ひめゆりの塔資料館＝
 7:15 9:30 13:20 14:20 16:15
4組
 ＝＝ ひめゆりの塔・資料館＝糸数壕＝
 14:20 15:30
 ＝摩文仁の丘・平和の礎＝サムズアンカーイン～(徒歩)～ホテル
 17:10 17:45 20:00
 (宿泊) チュラ琉球

12月6日(月)

ホテル＝＝＝班別タクシー研修＝＝＝＝ホテル
 8:45 17:00
 (宿泊) マリンピアザオキナワ

12月7日(火)

ホテル～もとぶ元気村(自然・文化体験学習)～ホテル
 8:30 16:00
 (自然・文化体験学習)
 ・マリン2種目(カヌー・バナナボート), ドルフィンガイドツアー,
 ジェルキャンドル制作, 美ら海染めをクラス単位で実施した。
 (宿泊) マリンピアザオキナワ

12月8日(水)

ホテル＝首里城公園＝国際通り＝那覇空港――羽田空港＝学校
 8:30 10:00 11:15 13:30 16:45 19:30

【修学旅行の全体について】

上のような行程で3泊4日の修学旅行に行ってきました。行程はほぼ昨年と同じものです。昨年は新型インフルエンザの大流行があり、その対応に苦労しましたが、今年は、幸い大きな病気もなく、無事予定の行程を消化することができました。病気以外でも特にトラブルもなく、とても有意義な修学

旅行となりました。

第1日(12/5日)

ほぼ予定どおりに学校を出発。飛行機に乗るのが初めての者が多く、飛行機が離陸するときには、「おおっ〜!」という声。予想通りの反応でした。天気もよく富士山も機上からくっきり見えました。

沖縄に着いて4台のバスに乗り換え、1, 2, 3組は糸数壕へ。4組は、ひめゆりの塔・資料館へ。糸数壕に一度に入れる人数が限られているので、このようなクロスした日程になりました。糸数壕へは、全員ヘルメットをかぶり、軍手をして、懐中電灯を持ってクラス毎に入りました。クラス毎にガイドさんが一人付いてくれて、説明をしてくれました。ガイドさんは沖縄戦の悲惨な歴史について説明してくれました。何度か、暗闇を体験してみましようと言って、全員で懐中電灯を消しました。するとそこは全くの闇の中。そのような状況で戦



争を継続していた兵士達や、ひめゆり学徒の話を知るとその悲惨さが身にしみて分かります。旅行から帰って来てから生徒が書いた感想にも、「壕に入ると、戦争の話を知り、当時の人たちの気持ちを考えることで、今の自分達の幸せを改めて知ることができた」「ガマはとても印象深かった場所です。戦争で死んだ人の苦しみ、悲しみを体の底から感じた」というように、旅行中印象に残ったものとして壕での体験をあげる人が多く、そのインパクトは相当強かったようでした。

その後1, 2, 3組は、ひめゆりの塔・資料館へ。反対に4組は資料館の方から糸数壕へ。ひめゆりの塔・資料館でもその資料をじっくり読んでいた生徒の姿が見られました。

次の摩文仁の丘・平和の礎では、再び4クラスが合流し、クラス毎の写真撮影。ここは沖縄戦で亡くなった方の名が国籍問わず石碑に彫られている場所で、この「国籍を問



わずに」というところが意義深い場所です。礎の向こうは海がきれいに見えていますが、ここで断崖から飛び降りて亡くなった方も多く、そんな悲しい場所でもあるのです。

第1日目の平和学習もここで終わり、夕食場所へ移動。那覇市国際通りにあるステーキハウスです。目の前で係の方がステ

一キを焼いてくれます。しかも、コショウの入れ物をまるで手品のようにクルクルを投げ上げながら。生徒たちはとても喜んでいました。

第2日（12/6月）

班ごとに分かれてタクシー研修。天気は快晴。半袖でも過ごせるような陽気。生徒たちはタクシーに分乗し、それぞれ行きたいところへ出かけて行きました。アメリカンビレッジやバイナップルパーク、万座毛。中には対馬丸資料館という前日に引き続いての



平和学習という硬派もありました。午後にはほとんどの班が美ら海水族館へ。ここから2日目のホテル、マリンピアザオキナワお近いのです。

予定の時間には、みな無事にホテルに帰着しました。

第3日（12/7火）

ホテルのすぐ下は、「もとぶ元気村」という自然文化体験が出来る施設になっています。自然体験は、カヌー、バナナボート、ドルフィンツアー。文化体験は、三線教室とジェルキャンドル作り。この日は風が強く、気温も前日からは急激に下がったのですが、生徒は元気いっぱいでした。



海は防波堤が出来ていて安全に設計されています。それでも海の水はきれいで、透き通っていました。

第4日（12/8水）

天気も回復し、ホテルからバスで那覇へ戻り、首里城観光。沖縄の古い歴史の場所を歩きました。

その後は国際通りへ移動し、昼食とお土産の時間を兼ねて、自由行動となりました。生徒たちからは、この自由行動の時間が少なすぎたと後から苦情が多く寄せられました。



帰って来てからの感想には「最高に楽しかったです。いろいろな文化を見たりできて良かったです。帰りの日には涙が出そうになりました。」
「めっちゃ、楽しかった。」というようなものが多く、忘れられない経験になったことがわかります。また生徒たちも行事を通じて成長したことが感じられた旅行でもありました。すばらしい旅行に出来たと思います。